



毎月 1 回 1 日 発行  
 発行 社団法人 全国防災協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-2(虎ノ門東鉦ビル6F)

電話03(3508)1491 FAX03(3508)1493

発行責任者 加藤浩己

印刷所 (株)白橋印刷所



平成21年度 災害復旧実務講習会 (東京都港区 ニッショーホール)

目 次

災害復旧事業によせて

平成16年災 鞍谷川災害復旧助成事業について

.....福井県鯖江市長 牧野 百男… 2

平成21年度 災害復旧実務講習会 開催 ..... 7

災対室情報 中央防災会議について ..... 11

各県コーナー 「秋田県」 ..... 14

会員だより 「中山間地域を支える幹線道路での災害対応事例」

.....徳島県 岩本 穰… 23

防災課だより 河川局関係人事発令 ..... 28

協会だより ..... 29

災害復旧事業によせて

# 平成16年災 鞍谷川災害復旧助成事業について

～安全で安心に暮らせるまちづくり～



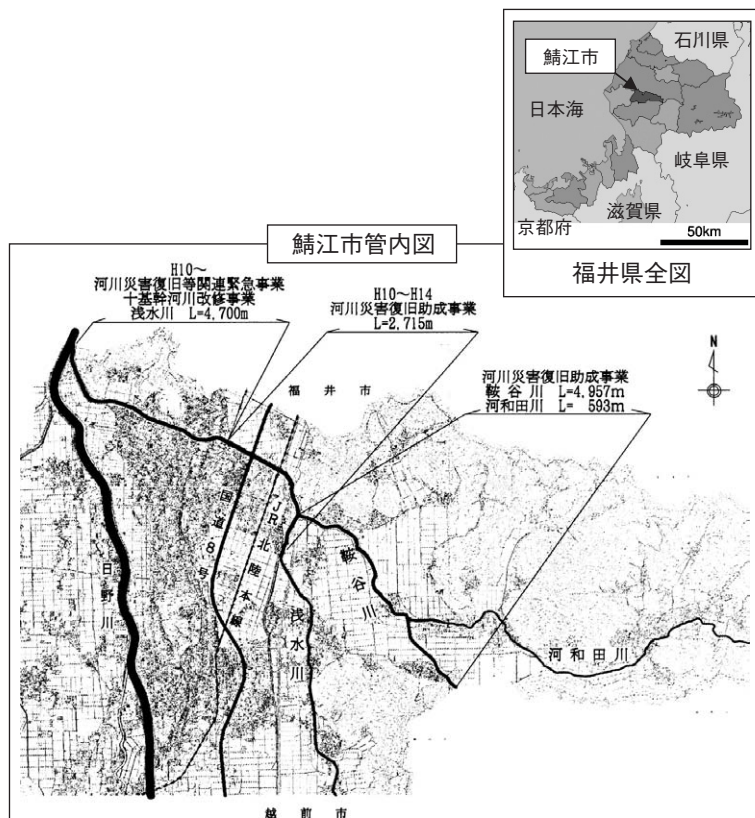
福井県鯖江市長  
牧野百男

## 1. はじめに

このたび、一級河川鞍谷川災害復旧助成事業について、沿川自治体としてご紹介の機会を頂戴しましたことに対して、深く感謝とお礼を申し上げます。

鯖江市は、福井県のほぼ中央に位置し、北は、福井市、南は越前市に隣接し、東西約19.2km、南北約8.3km、面積84.75km<sup>2</sup>と東西に長く、北陸自動車道、国道8号、JR北陸線が南北に併走する交通の要所となっています。その中、市の中央の丘

陵地の西側を日野川が南北に流れ、東方から西に流れる河和田川が、南方から流れる鞍谷川に合流しさらに浅水川と合流し、市の中央の丘陵地を掘割して日野川に合流しています。東部は三方が山地に囲まれた盆地、中央部は西山を中心とした丘陵地、西部は平野となっており、越前平野の一部を形成しています。日野川と国道8号の間に市街地を形成し、周辺に集落が点在していますが、近年、小規模な開発が行われ、宅地の増加が見られます。



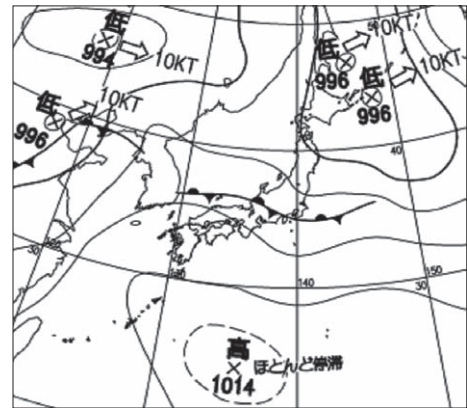
本市は、福井市のベッドタウンともなっていますが、眼鏡・繊維・漆器など製造業も盛んで、特に眼鏡枠については本市を中心として日本一の産地で、国内製造シェアのほぼ9割を占めています。

歴史的には、今から2千年前、10代崇神天皇の時代に四道将軍の一人大彦命が北陸道賊徒討伐にこの地に巡行された際に、賊徒は神矢によってたおれ、その矢が鯖の尾に似ているところから地名を鯖矢と呼び、後に鯖江になったと伝えられています。承元元年（1207年）、親鸞聖人が越後へ配流の途上、鯖江を通過される時、豪族波多野景之の館（車の道場）で法を説かれ、これがきっかけとなり、弘安2年（1279年）に親鸞聖人の5子道性が、現在の誠照寺の地に堂宇を建て、この地に仏教を広められました。以後、鯖江は門前町として開け賑わってきました。また、江戸時代の初期は、徳川家康の次男結城秀康の所領に属し、元禄三大文豪として名高い浄瑠璃・歌舞伎作者の近松門左衛門が幼少年期を過しています。

2. 平成16年7月福井豪雨

平成16年7月13日からの新潟・福島豪雨をもたらした梅雨前線は、北陸地方をゆっくり南下し、7月18日未明から昼前にかけて福井市、美山町（現在福井市）、今立町（現在越前市）、池田町、そして本市を中心に局地的な豪雨をもたらしました。

鯖江市の東部の河和田川においては、18日7時ごろから越水し、山に挟まれた河和田地区全体が



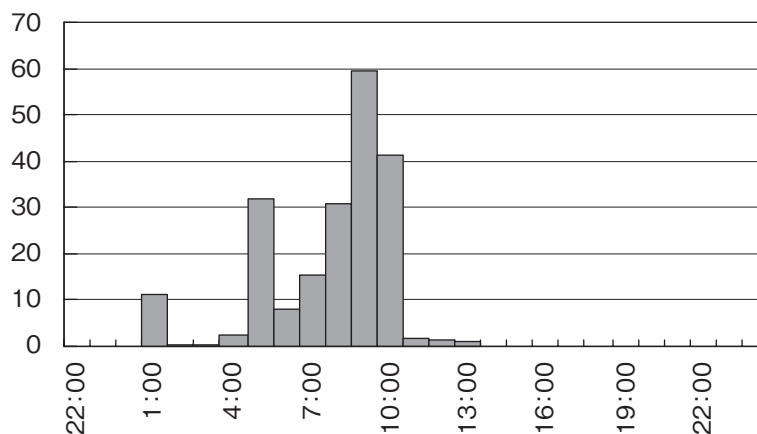
天気図

川と化し、8時には災害対策本部が設置され、9時ごろに鯖江市東部の河和田地区全体に避難勧告が出され、その後他の地区にも避難勧告が出されました。

また、下流の鞍谷川についても増水し、昼ごろより土のう積みを行いました。甲斐なく越水し、人家等が浸水する被害となりました。

このため、本市では鞍谷川、河和田川、天神川が氾濫し、本市の東部地区を中心に、死者1人、負傷者13人、全壊4棟、半壊44棟、一部損壊80棟、床上浸水352棟、床下浸水629棟、被害総額約112億円という、未曾有の災害がもたらされました（鯖江市集計）。

この水害で、最大で463名が一時的に公民館や小学校などに避難しましたが、応急対応などにつ



ハイエトグラフ（浅水川 黒津地点）



いて県を始め近隣の市町村などから物資や人的な応援を得たほか、述べ1万人あまりのボランティアの方々により、土砂の処理などが行われ、早期に避難解除ができたことに、感謝を申し上げます。

平成10年の水害を契機に浅水川については、助成事業や災害復旧等関連緊急事業をいれて、改修済みであったので、堤防すれすれまで水位が上昇しましたが、越水せず浸水被害に至らなかったことは、不幸中の幸でした。



鞍谷川 水防状況

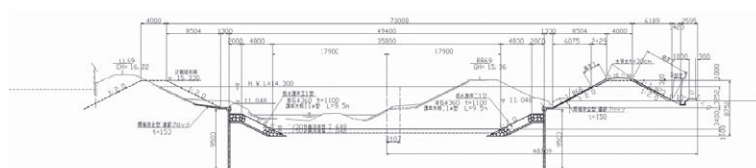


河和田川 氾濫状況



ボランティア状況

### 3. 鞍谷川災害助成事業



鞍谷川 下流部横断面図



河和田川や鞍谷川の上流部では、施設災害が多く発生しましたが、中流部では、断面不足による越水が主な被害となったことから、県内 2 個目の越水災害としての災害復旧事業の申請となりました。

また、越水対策としての堤防の嵩上げだけでは、所定の治水効果が見込めないとして、財務省のご理解および国土交通省のご指導や県当局のご努力により、一連区間の再度災害防止を目的として、鞍谷川約 5 km（越前市部分を含む）と河和田川約 0.6km について、災害復旧助成事業の採択を受けました。

#### 事業概要（越前市分を含む）

河 川 名：一級河川 鞍谷川および河和田川

事業延長：4,957m + 593m

事業期間：平成16年度～平成20年度

工事内容：引堤および河床掘削による河積拡大

護岸工

橋梁架替 13橋

取水堰 2基

排水樋門 1基

引堤は片側を基本とし、わん曲を極力解消した河川線形としています。併せて河床掘削を行い、河積の拡大を図っています。

護岸は、環境保全型の接続ブロックを用い、堤体漏水の懸念がある区間は遮水矢板を打ち込み、捨石護岸としています。

人家連担部においても引堤を伴うため、用地買収、住宅移転が必要となり、地権者や関係者との協議など大変でしたが、協議も整い、現在は順調に工事が進められています。

この復旧事業において、治水上の安全確保は言うまでもなく、関係者のご努力により懸案であった橋梁等の整備ができたことは大きな意味があると思います。

また、改修はほぼ終わっているものの、残っている工事についても、住民の安心安全のため、早期に完成していただきますようお願いいたします。



改修前（水窪橋 下流）



改修後（水窪橋 下流）

#### 4. おわりに

現在、水害の被害軽減のため、各種施策を進めておりますが、福井豪雨を契機として行われた今回の改修により、一定の河川の安全度が確保され、福井豪雨で被害を受けた地場産業などの復旧や市の発展に大いに役立つものと大変感謝しております。

今回の福井豪雨は、短時間に大雨が降るという局所的な雨で、日雨量では80年確率にもなるというもので、これについては、到底対応が難しいと思われませんが、死者が出ていることを踏まえ、今後、さらにハザードマップ等を活用して住民を含めた避難体制の整備等について、検討していく必要があると思っております。

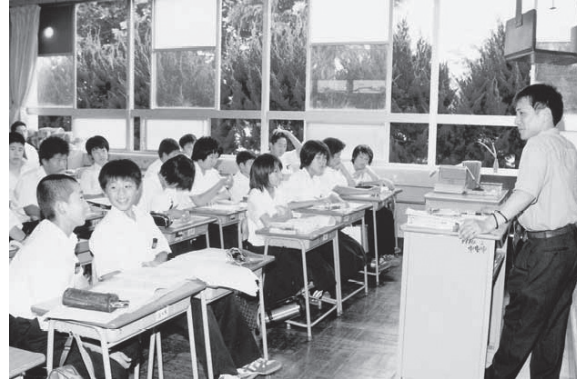
最後に、本事業に関しまして、おほねおりいただいた国や県をはじめ関係の皆様方に厚くお礼を

申し上げますとともに、今後も「安全で安心に暮らせるまちづくり」を目標に掲げ、取り組んでま

いりますので、より一層のご支援をお願いいたします。



水防訓練状況



出前講座状況

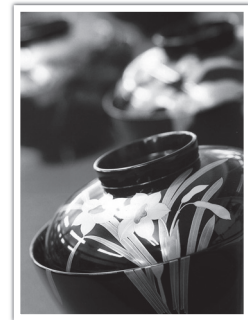
～ 世界に誇る ものづくり のまち ～



多様な繊維製品



眼鏡日本一 国内9割、世界2割のシェア



約1500年の歴史と伝統  
越前漆器



日本海側随一のつつじの名所



“つつじ・さくら・もみじ”の西山公園



成育数日本一  
レッサーパンダ



# 平成21年度 災害復旧実務講習会 開催

社団法人 全国防災協会



会場：日本消防会館（ニッショーホール）

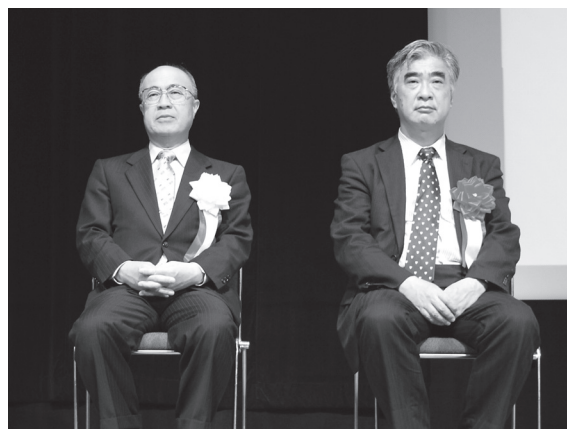
平成21年度災害復旧実務講習会は、去る5月13日（水）、14日（木）の2日間にわたり、国土交通省河川局防災課及び岩手県・宮崎県等のご協力をいただき、東京都港区の日本消防会館（ニッショーホール）にて開催されました。

ご承知のように昨年は、平成12年以来8年ぶりに我が国本土への台風上陸がゼロの年で、公共土木施設の被害報告額について全国的に見ると、近年で最も少なかった平成19年よりもさらに少ない被害額となっております。

しかしながら、2月の北陸地方（日本海沿岸）を中心に発生した冬期風浪をはじめ、6月中旬に発生した岩手・宮城内陸地震、7月末の北陸・近畿地方における大雨、8月末の東北・関東・東海地方における大雨等々、全国各地で局地的に大きな被害が発生しております。

このような自然災害に対しては、災害復旧対策は必要不可欠の命題であり、特に初動体制の確保や応急対策の速やかな実施、短期間での集中的な災害復旧事業の促進、再度災害防止のための災害関連事業等の積極的な推進が強く望まれるところであります。

本災害復旧実務講習会は、これから迎えます梅雨



壇上（佐々木副会長・来賓の細見防災課長）

や台風等に伴う出水期に備え、本講習会を受講し、より円滑・適正な防災行政の遂行に反映させていただくことを目的に、例年この時期に開催しております。

今年度の実務講習会は、都道府県・市町村職員及び国土交通省地方整備局の職員や賛助会員・一般企業の方々等、全国各地から300名余（別紙：受講者数参照）の参加者を得、盛大裡に行われました。

講習会は、当協会の佐々木賢一副会長の主催者挨拶で始まり、公務ご多忙にもかかわらず、ご来賓としてお出いただいた国土交通省河川局 細見 寛防災





主催者開催挨拶：佐々木賢一 副会長



来賓挨拶：細見 寛 防災課長

課長より受講者の皆様方にご挨拶を頂戴いたしております。

講義は、1日目に国土交通省河川局防災課の貫名功二 水防企画官から「最近の自然災害と防災上の課題と対応について」のご講義をいただいた後、別紙（講習会日程）に従い、2日目の国土交通省河川局防災課 山科勝嗣 災害査定官のご講義まで、災害復旧に係わる実務を中心とした講義が行われ、受講者の皆様には最後までご熱心にご聴講をいただきました。また、昨年度の優秀災害復旧事業技術発表会にて最優秀賞を受賞した宮崎県高千穂町の有藤寿満

氏及び災害査定の迅速化に取り組まれた岩手県県土整備部の笹原敬悦氏より事例をご紹介いただきました。なお、昨年度の優秀災害復旧事業技術発表受賞者につきましては、環境新聞社のご協力を得、本年度も特集として記事を掲載していただき、会場ロビーにて配布させていただきました。

お陰様をもちまして本年度の災害復旧実務講習会を無事終了することができました。

ご協力を頂きました各講師の方々、また実務講習会にご参加をいただきました受講者の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

## 平成21年度 災害復旧実務講習会日程

於：東京都港区 日本消防会館（ニッショーホール）

月 日	講 義 題 名	講 師 名
(1日目) 5月13日(水)	主催者挨拶	(社)全国防災協会 副会長 佐々木賢一
	来賓挨拶	国土交通省河川局 防災課長 細見 寛
	最近の自然災害と防災上の課題と対応について	国土交通省河川局防災課 水防企画官 貫名 功二
	災害事務の取扱いについて	国土交通省河川局防災課 課長補佐 塚田 政行
(2日目) 5月14日(木)	① 災害採択の基本原則について	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官 大谷 博信
	② 復旧工法のポイントと留意点について	
	災害復旧における環境への取組について	国土交通省河川局防災課 課長補佐 長野 拓朗
	改良復旧事業について	国土交通省河川局防災課 課長補佐 高木 優
	災害査定の迅速化への取り組みについて	岩手県県土整備部砂防災害課 技術副主幹 笹原 敬悦
	平成20年度 優秀災害復旧事業技術発表 受賞紹介 最優秀賞 平成17年災 山附川河川等災害関連事業	宮崎県高千穂町建設課 土木係長 有藤 寿満
平成20年発生災害採択事例について	国土交通省河川局防災課 災害査定官 山科 勝嗣	

## 講 師 紹 介

「最近の自然災害と防災上の課題と対応について」



講師：貫名功二 水防企画官

「災害復旧における環境への取組について」



講師：長野拓朗 課長補佐

「災害事務の取扱いについて」



講師：塚田政行 課長補佐

「改良復旧事業について」



講師：高木 優 課長補佐

「災害採択の基本原則について」  
「復旧工法のポイントと留意点について」



講師：大谷博信 総括災害査定官

「平成20年発生災害採択事例について」



講師：山科勝嗣 災害査定官

「災害査定の迅速化への取り組みについて」



講師：笹原敬悦（岩手県県土整備部砂防災害課）

平成20年度 優秀災害復旧事業技術発表 受賞紹介  
最優秀賞「平成17年災 山附川河川等災害関連事業」



講師：有藤寿満（宮崎県高千穂町建設課）

## 受 講 者 数

《都道府県別》

北海道	1名	青森県	5名	岩手県	6名
宮城県	4名	秋田県	9名	山形県	5名
福島県	6名	茨城県	6名	栃木県	1名
群馬県	3名	埼玉県	2名	千葉県	21名
東京都	3名	神奈川県	16名	新潟県	11名
富山県	5名	石川県	1名	福井県	4名
山梨県	4名	長野県	7名	岐阜県	7名
静岡県	26名	愛知県	5名	三重県	4名
滋賀県	1名	京都府	8名	大阪府	1名

兵庫県	3名	奈良県	7名	和歌山県	2名
鳥取県	6名	島根県	2名	岡山県	8名
広島県	4名	山口県	2名	徳島県	2名
香川県	3名	愛媛県	4名	高知県	2名
福岡県	10名	佐賀県	11名	長崎県	1名
熊本県	0名	大分県	1名	宮崎県	6名
鹿児島県	1名	沖縄県	3名		
東北地方整備局	0名	関東地方整備局	6名		
北陸地方整備局	0名	中部地方整備局	0名		
近畿地方整備局	0名	中国地方整備局	1名		
四国地方整備局	1名	九州地方整備局	0名		
北海道開発局	0名	災害復旧技術専門家	22名		
賛助会員	20名	その他 一般企業等	22名		



会場風景



受付風景（事務局：全国防災協会）



## 災対室情報

## 中央防災会議について

国土交通省河川局防災課

4月21日に官邸において第24回中央防災会議が開催され、国土交通省からは金子国土交通大臣が出席した。

会議では、平成21年度の「総合防災訓練大綱」及び「中部圏・近畿圏直下地震対策大綱」が決定されたほか、地震調査研究推進本部「新たな地震調査研究の推進について」の報告等が行われた。

## (1) 平成21年度総合防災訓練大綱

本大綱は、災害対策基本法などに定められている訓練の実施について、その年度計画を定めたものであり、毎年中央防災会議において決定されている。

9月1日の「防災の日」に行われる政府本部運営訓練では、首都直下地震を対象とした訓練が実施される。また、平成22年1月の政府総合図上訓練では、東海地震を想定した訓練を実施することとしている。このほか、水害対処訓練、原子力防災訓練など、図-1に示すような訓練が予定されている。

## (2) 中部圏・近畿圏直下地震対策大綱

西日本では、東南海・南海地震の発生が懸念されているが、過去の統計から、東南海・南海地震の前後に中部圏・近畿圏の内陸部で地震活動が活発化する傾向があることが知られている。東南海・南海地震対策専門調査会では、中部圏・近畿圏の13の活断層を対象として被害想定を進め、第23回中央防災会

議で報告が行われた(図-2~4)が、これを受け、中部圏・近畿圏で直下型地震が発生した場合の地震防災対策のマスタープランに当たる大綱が本会議にて決定された。

中部圏・近畿圏では、例えば木造住宅密度の上位10市区中8市区が大阪府内に存在し、京都・奈良などの古都も擁することから、通常の地震対策に加え、木造住宅密集市街地対策や文化遺産の被害軽減対策などを行う必要性が謳われている。また、湾岸地域における海拔ゼロメートル地帯や、大阪湾・伊勢湾に集積する石油コンビナート地帯における安全確保の必要性などに触れられている点も特徴的である。

## (3) 新たな地震調査研究の推進について

地震調査研究推進本部(事務局：文部科学省)では、地震防災対策特別措置法に基づき、地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進について総合的かつ基本的な施策を立案することとされているが、現行の調査・研究計画が策定から10年を経過したことから、新たに今後10年間における基本計画が取りまとめられた。

この新たな基本計画では、①海溝型地震の発生予測の高精度化、②活断層等に関連する情報の体系的収集、評価の高度化、③研究成果を防災・減災対策に繋げる取組の強化、の3点に関する地震調査研究を重点的に取り組むこととされている。

### 平成21年度 総合防災訓練大綱(案)(概要)

資料1-1

#### (1)地震を想定した総合防災訓練

##### ア 「防災の日」政府本部運営訓練

「防災の日」9月1日(火)に、首都直下地震を想定し、内閣総理大臣を始めとする全閣僚が参加して、災害発生時の地震災害応急対策の実施体制の確保等を図る訓練を実施

##### イ 政府総合図上訓練

平成22年1月に、東海地震を想定し、緊急災害対策本部の業務について訓練を実施

##### ウ 現地訓練

- ・八都府県合同防災訓練と連携して、川崎市において首都直下地震を想定した訓練を実施
- ・静岡県総合防災訓練と連携して、静岡県において東海地震を想定した訓練を実施
- ・近畿府県合同防災訓練と連携して、福井県において直下型地震を想定した訓練を実施

##### エ 津波防災総合訓練

東海地震による津波を想定した訓練を実施

#### (2)水害対処訓練

台風等により大規模な浸水被害が発生したことを想定した訓練を実施

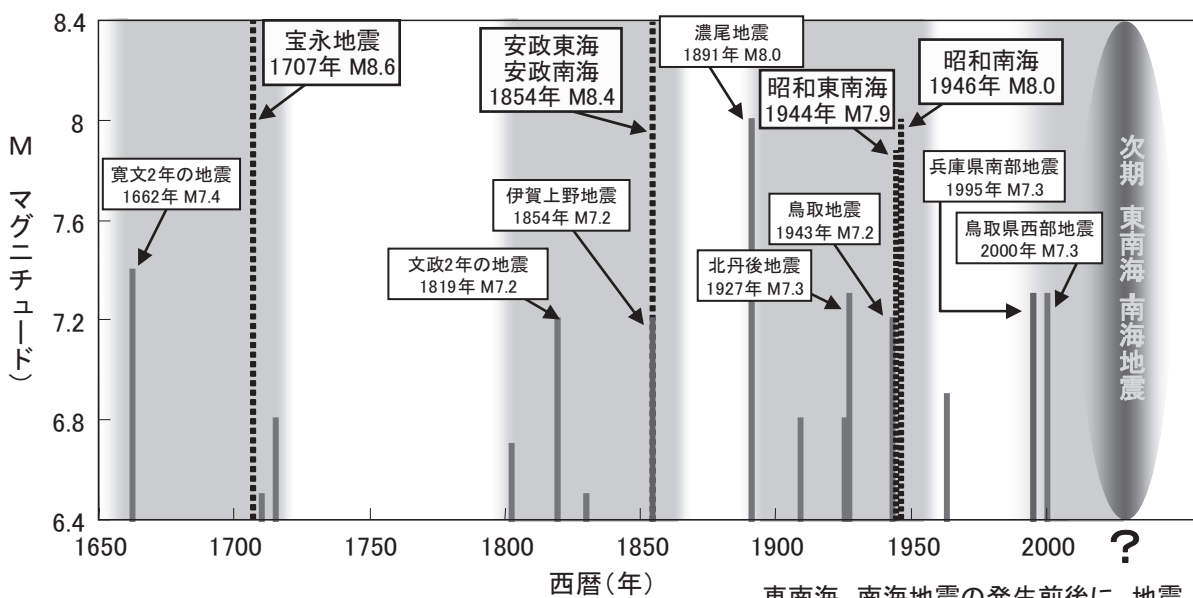
#### (3)原子力防災訓練

日本原子力発電(株)東海第二発電所における事故を想定した訓練を実施

図-1

## 中部圏・近畿圏等における地震活動

西日本では、東南海、南海地震の前後に地震活動が活発化する傾向が見られる。



※1650年以降、深さ30km以浅、M6.5以上で発生した地震

東南海、南海地震の発生前後に、地震活動が活発化していると想定される概ねの期間(約60年間)

図-2

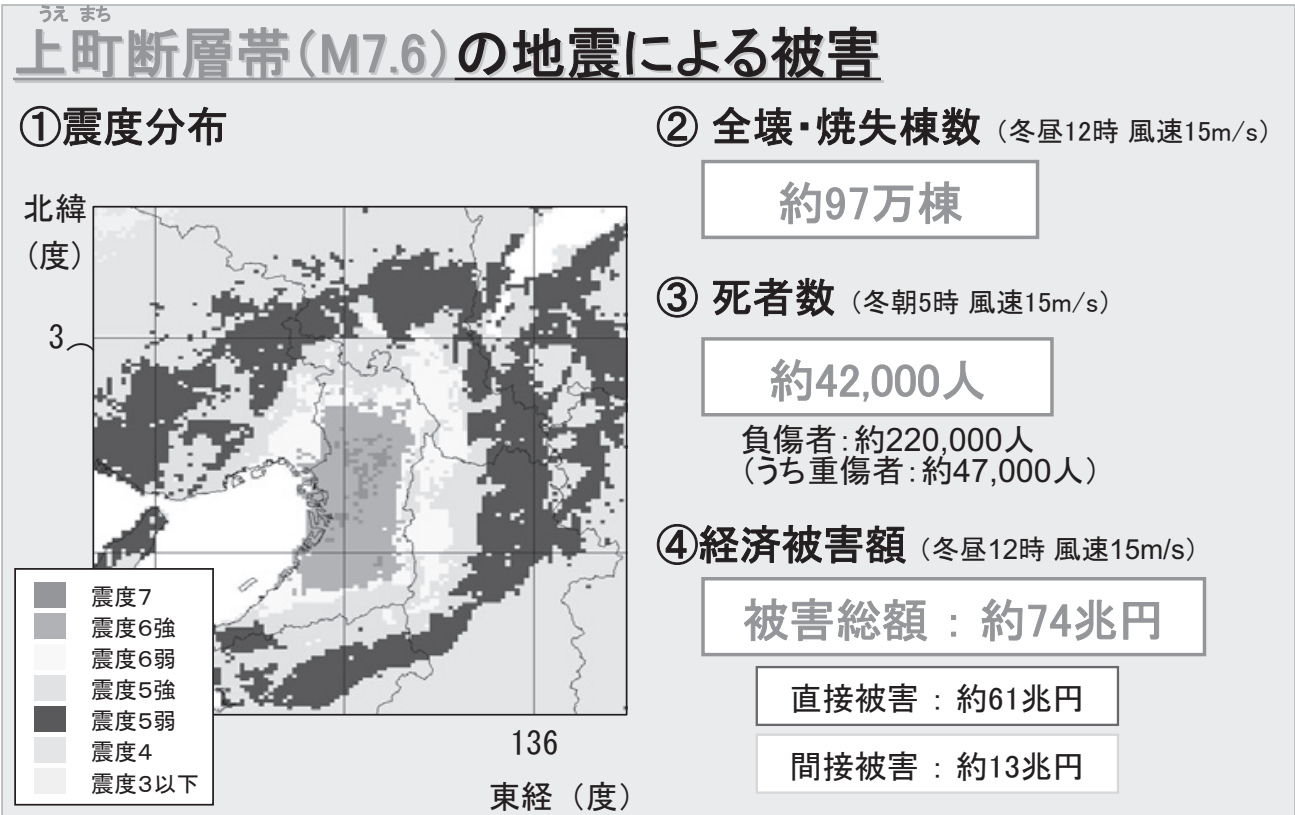


図-3

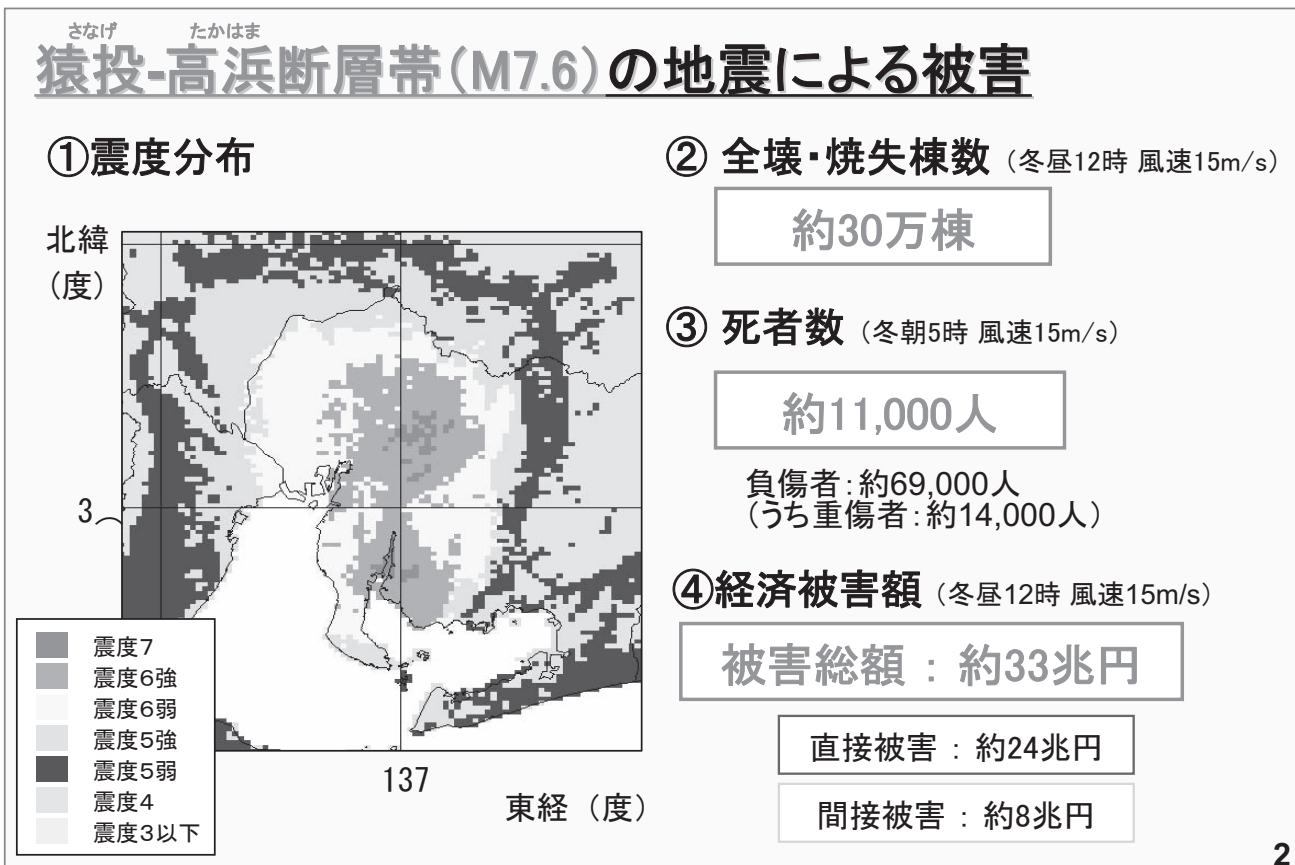


図-4



《各県コーナー》

# 平成20年6月14日岩手・宮城内陸地震による 秋田県の被害状況

～岩手・宮城内陸地震災害復旧への取り組み～

.....秋田県雄勝地域振興局建設部

## 1. はじめに

秋田県は東北地方の日本海に面した北西部に位置し、東は岩手県、南東は宮城県、北は青森県、南は山形県に接する。面積は11,612km<sup>2</sup>(東西111km、南北181km)で全国第6位の広さを有する。東経140度線と北緯40度線は、八郎潟干拓地のほぼ中央を通過している。

県の東部は南北に奥羽山脈、およびそれに連なる那須火山帯が、県の中央部を同じく南北に出羽山地、およびそれに重なる鳥海火山帯が走っているため、県の総面積の57%を山地(うち普通山地44%、火山地13%)が占め、さらに丘陵17%・台地7%・火山麓3%で約7割が森林となっている。

このため、映画「釣りキチ三平」で見られるような雄大な自然が豊富で、冬が長く夏が短いものの、四季の移り変わりが感じやすい気候である。

岩手・宮城内陸地震により被害が集中した箇所は、秋田県の南東部「湯沢雄勝地区」で、小野小町の生誕地といわれる雄勝町、秋田、宮城、岩手の3県にまたがる「栗駒山」を中心とした「栗駒国定公園」がある。「栗駒山」は火山で、周辺には日本三大霊場のひとつある「川原毛地獄」や「泥湯温泉線」、「小安峡温泉」、「秋ノ宮温泉」「須川温泉」等の昔ながらの風情をたたえる温泉が多数ある。

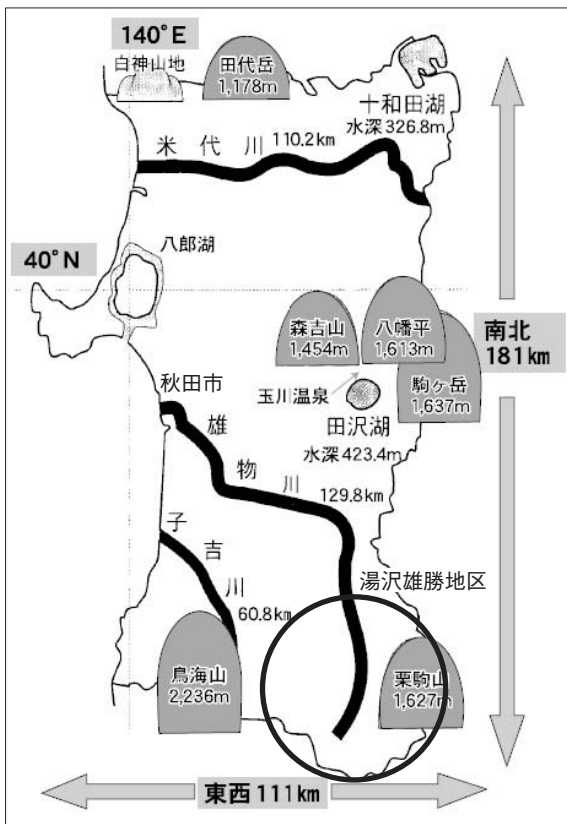


図-1.1 秋田県の地勢図



写真-1.2 小安峡温泉 大噴湯

《各県コーナー》

2. 地震の概要

岩手・宮城内陸地震は、平成20年6月14日午前8時43分に岩手内陸部の深さ8kmを震源としたマグニチュード7.2、最大震度6強の地震である。秋田県内における震度は最大5強である（図-2.1）。

当地震の特徴は、最大加速度が3,867galと内陸地震で過去最大の地震加速度を記録し、その値は新潟県中越地震の約2.3倍、阪神淡路大震災の約5.0倍である（図-2.2）。

この地震による地殻変動は、宮城県側栗駒観測所で南東方向最大149.6cm、秋田県内でも皆瀬観測所で東南東方向に最大29.1cmが観測されている（図-2.3）。

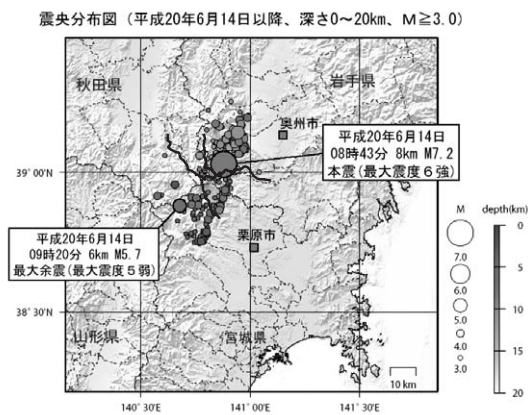


図-2.1 震央分布図

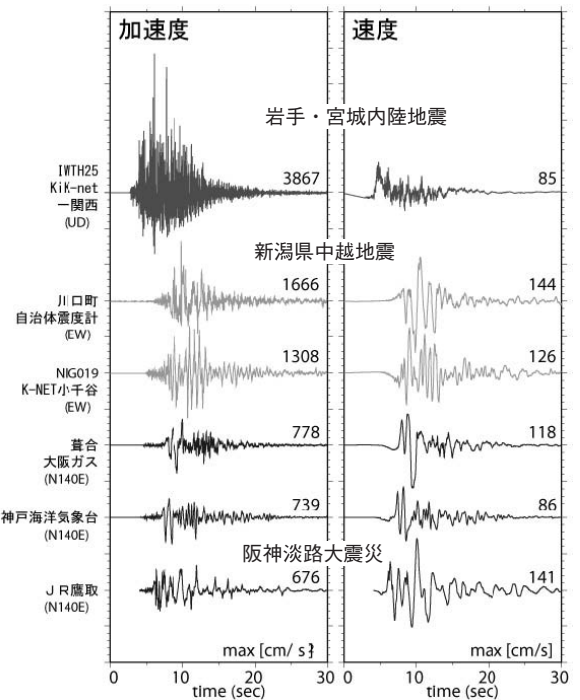


図-2.2 既往地震加速度比較図

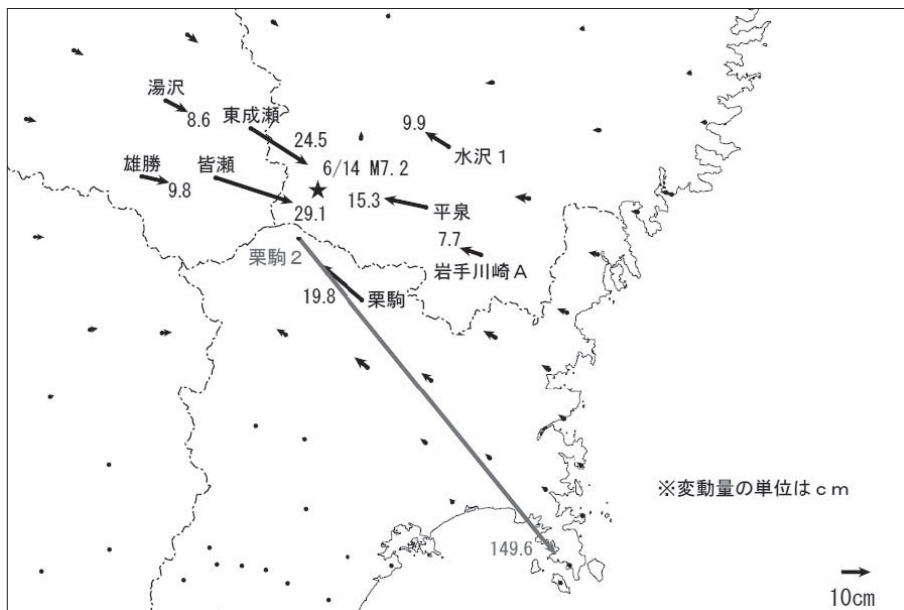


図-2.3 地殻変動量布図

《各県コーナー》

3. 被害の状況

秋田県内における最大震度は5強で、被害は秋田県南東部に位置する湯沢雄勝管内の岩手県・宮城県の県境付近に集中している。

被災は岩手県と秋田県を結ぶ国道342号、397号、宮城県と秋田県を結ぶ国道398号、県道仁郷大湯線等の道路施設で多く発生し、被害箇所は約140箇所、被害総額は約19億円にもおよんでいる。

被害現象としては、地すべり・斜面崩壊、落石、路面の亀裂、橋台背面の陥没、擁壁工の変状等である。

(1) 地すべり・斜面崩壊

地すべり・斜面崩壊による被害は2箇所が発生している。

写真-3.1、2は(主)湯沢栗駒公園線の黒滝橋付近で発生した幅W=75m、長さL=120m、厚さ

D=15mの地すべりである。この地すべりにより県道は通行止めとなっている。幸い人身・車両等への被害は発生していない。



写真-3.1 黒滝橋付近の地すべり

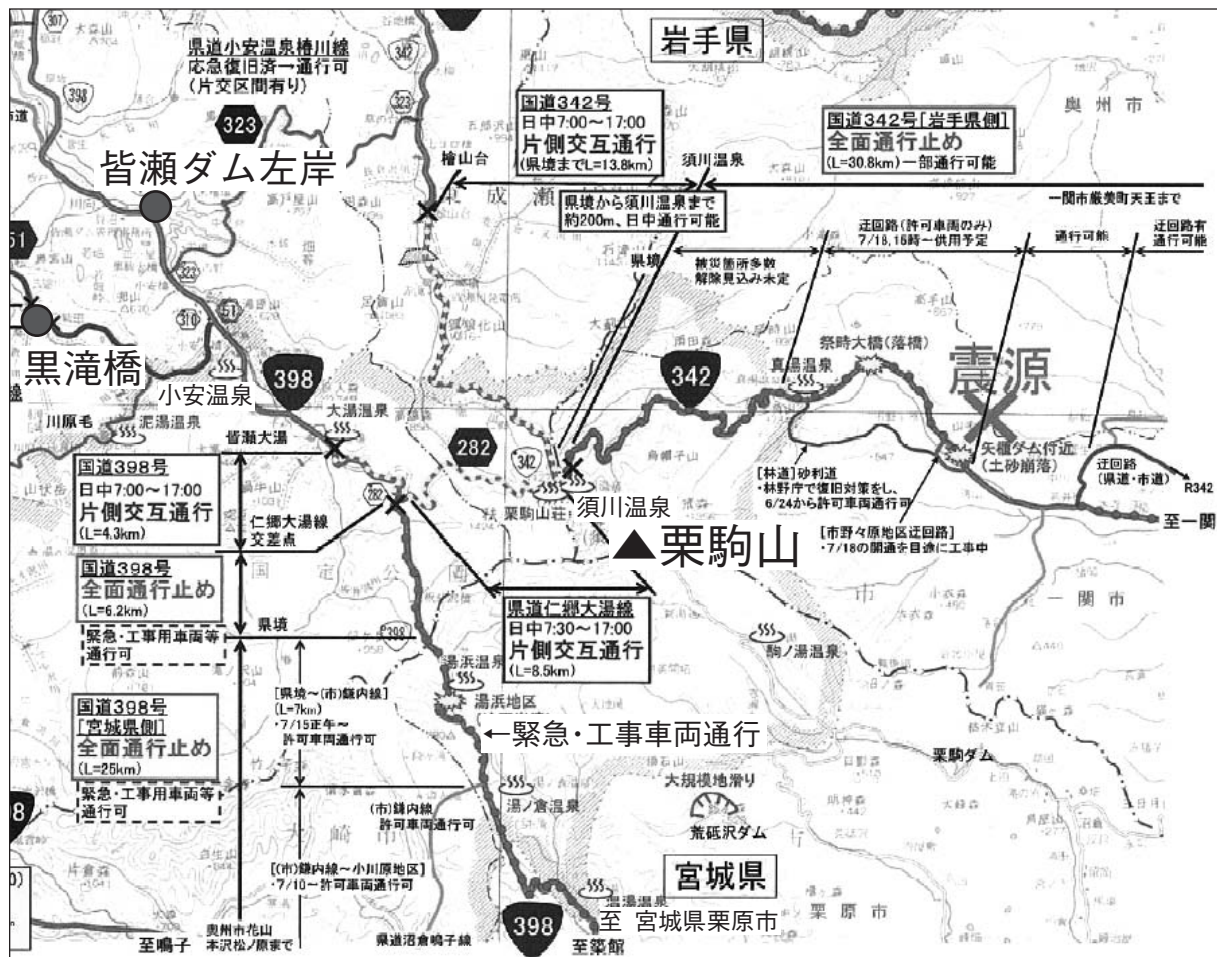


図-3.2 被災後の道路供用状況図



## 《各県コーナー》



写真-3.2 黒滝橋付近地すべりの滑落崖



写真-3.3 皆瀬ダム下流の斜面崩壊



写真-3.4 皆瀬ダム下流の斜面崩壊

写真-3.3、4は、皆瀬ダム下流左岸で発生した崩壊で、この崩壊によりダム下流の河川が堰き止められ、排水トンネルの出口も埋塞している。

## (2) 落石

落石は、震源に近い国道342号、(一)仁郷大湯線で多く認められた。

仁郷大湯線、国道342号等の急峻な地形で発生し、移動距離が100m以上の落石も確認されてい

る。斜面中腹部に存在していた浮き石が崩落したものが大部分である。

写真-3.5は、国道342号の落石状況、写真-3.6は仁郷大湯線の落石状況で落石の径は最大2mにもおよんでいる。



写真-3.5 国道342号の落石状況



写真-3.6 仁郷大湯線落石状況



写真-3.7 沢埋盛土部における路面の亀裂



《各県コーナー》



写真-3.8 縦断方向の亀裂  
(片切片盛土部)

(3) 路面の亀裂

今回の地震において大多数を占める被災現象で、調査延長77kmに対し延長約10kmにわたって路面の亀裂が発生している(図-3.3参照)。

路面の亀裂は、片切片盛土部および縦断方向の盛土と地山部の境界で発生している。亀裂の深さは最大198cm、幅は最大で55cm、段差は最大で35cmが確認されている。

(4) 橋台背面の陥没

橋台背面部の変状は、橋台部との隙間、段差・陥没で、縦断勾配のある橋台部では、山側橋台背面部のみの変状が多く認められている。

写真-3.9は、国道342号仁郷橋橋台背面の変状状況で、陥没、段差が確認される。

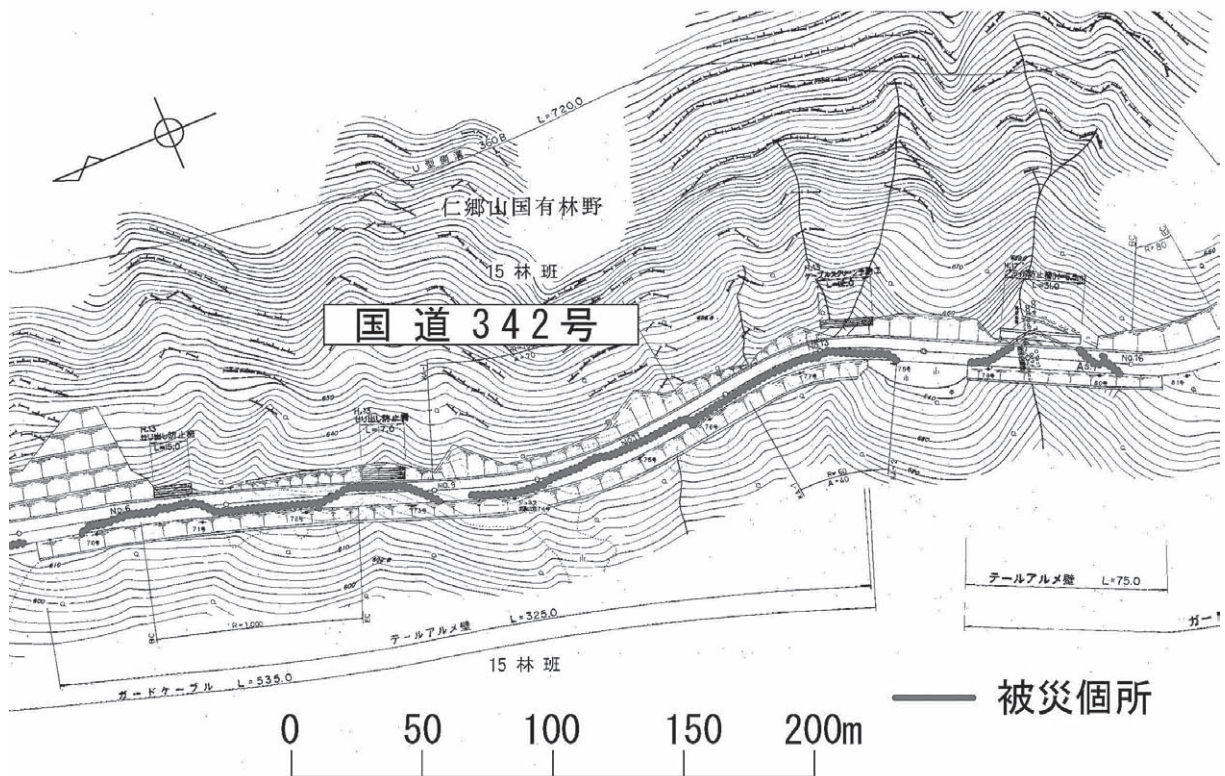


図-3.3 路面亀裂の発生状況図(国道342号)  
太線の箇所が路面の亀裂

## 《各県コーナー》



写真-3.9 国道342号仁郷橋橋台背面の変状

## (5) 壁工の変状

擁壁工の倒壊箇所は少なく写真-3.10に示す国道398号の重力式擁壁箇所のみで、補強土擁壁の傾倒が多く発生している。

写真-3.10 国道398宮城県境付近  
重力式擁壁の傾倒による路面の変状

ただし、補強土擁壁設置箇所は壁高が10m以上の箇所もあるものの倒壊した箇所はなく、変形し地震動に抵抗したものと想定される。

補強土擁壁の安定性の判定基準では、変形（傾倒）に対する明確な基準がないことから「壁面が鉛直壁に対し0.03H（傾斜度3%）または300mmを超える場合」を不安定な状況と判定し、災害申請している。



写真-3.11 補強土擁壁の傾倒



写真-3.12 補強土擁壁の変形

## 4. 被災直後からの仮復旧までの経緯

## (1) 発生直後の対応（平成20年6月16日）

地震発生直後の道路パトロールの報告により、震源地に近い国道342号、国道398号をはじめとする8路線8区間において、路面の亀裂・段差、落



## 《各県コーナー》

石等により車両の走行が困難な状況であることから、すぐに全面通行止めを行っている。

幸い道路上での人的被害は確認されなかったもののこの全面通行止めにより、(一)秋ノ宮小安温泉線にある「泥湯温泉」、国道342号県境にある「須川高原温泉」及び「栗駒山荘」の宿泊客や従業員が、一時孤立状態となった。このため道路パトロールによる路面状況確認後道路管理車両を先頭に安全を確認しながら「泥湯温泉」は、午前中に避難させた。「須川高原温泉」及び「栗駒山荘」は、国道342号で1m強の落石、路面亀裂が多発し、通行困難と判断されたため、県道仁郷大湯線・国道398号を一部仮復旧し、道路管理車両を先頭に15時過ぎに避難させた。

## (2) 通行解除の経緯

・平成20年6月18日

「泥湯温泉」は住居兼用温泉宿のため、また被災も大きくないことから、(一)秋ノ宮小安温泉線の一部片側交互通行として通行可能とした。

・平成20年6月19日

東成瀬村において、上水道に濁りが発生し自宅の風呂が使用できない住民が発生したため、国道397号奥にある温泉施設までを応急対策し、片側交互通行が連続する形で、日中のみ通行可能とした。

・平成20年6月25日

「栗駒山荘」の早期営業開始と被害の大きい岩手・宮城へつながる国道342号・398号・(一)仁郷大湯線を優先確保ルートとし、応急対策として、



写真-4.1 仮復旧状況



写真-4.2 国道342号仁郷橋仮復旧状況  
(写真-3.9 箇所の仮復旧状況)

法面の浮石除去作業、クラック充填、段差の擦り付け等を実施した(写真-4.1、2)。片側交互通行が連続する形であるが、日中のみ通行可能とした。

・平成20年7月18日

焼石岳への登山客の要望が多くあったため、国道397号岩手県境まで応急対策を実施し、終日解放とした。

・平成20年7月28日～8月1日

## 1次査定の実施

・平成20年8月7日

上新田(黒滝橋下流側)・下新田地区(黒滝上流側でじゅんさい沼キャンプ場・いこいの村等の施設がある)は、(主)湯沢栗駒公園線の黒滝橋付近の地滑りの発生(写真-3.1、2)により通行止めとなり、国道398号への迂回を強いられたいため、仮設防護柵を設置する応急仮工事を実施し(写真-4.3)、片側交互通行として通行可能な状態とした。

・平成20年8月11日～8月13日

## 2次査定の実施

・平成20年9月19日

地震発生から3カ月が経過し落石等の発生がなかったことから、国道342号・398号・(一)仁郷大湯線を終日通行可能とした。

・平成20年11月4日

国道398号は、例年冬期閉鎖を11月下旬に実施しているが、復旧作業を進める上で一般車両が通行することで復旧に遅れが生じるため、早めの閉

## 《各県コーナー》



写真-4.3 黒滝橋付近仮設防護柵設置状況  
(写真-3.1 箇所参照)



写真-4.4 工事看板での観光案内

鎖を行うこととした。

その他、被災の少ない区間の解除も随時実施し、8月中頃には、国道398号宮城県境側・県道横手東成瀬線郡境の2路線2区間のみの全面通行止めとなった。

なお、降雨や台風により緩んだ斜面が崩落する可能性があるため利用者の安全確保として、特に国道342号、国道398号及び仁郷大湯線に関しては、地震発生時、大雨警報時には全面通行止めを実施した。

## 5. 建設ホスピタリティー（以下「建設ホスピ」という）の実施

秋田県雄勝地域振興局では、工事現場における観光寄与を目的とした「建設ホスピ」を平成19年度より実施している。岩手・宮城内陸地震後は、災害の発生により観光客離れが懸念されたことから、以下のことについて実施した。

- (1) 工事現場での観光案内の実施  
(現在行っている建設ホスピの継続)
- (2) 通行止め案内看板の見直し

今までのような通行止めを案内するのではなく、どこまで通行可能なのかを案内する形で設置した(写真-4.4、5)。

これは、観光施設名を使って「通行止めを案内する」ことは「利用できないもの」と判断されたケースがあったためである。



写真-4.5 通行止め案内看板

### (3) 道の駅・コンビニ等への地図設置

高速道路や国道13号からのアクセル状況をインターネットだけでなく案内マップ配布して、詳しい道路状況の提供を行った。

## 6. おわりに

現在、災害復旧事業を鋭意進めているが、冬期閉鎖の影響もあり、進捗率は箇所数で約80%の状況である。

今後、現場では梅雨期、台風等の影響を受けることも予想されるため、二次災害に十分留意し、また、秋田県の南の玄関口として建設ホスピを進めながら、早期完成に向けて災害復旧事業を進め、安全で安心な県土整備を目指して取り組んでいるところである。



## 《各県コーナー》

最後に地震発生後には国土交通省緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の高度技術指導班に災害復旧に向けた調査や、復旧工法に関しての現地指導をいただいた。また、国土交通省河川局防災課ならびに財務省東北財務局の皆様には災害申請に関してご指導・助言、被災箇所における早期現地査定の実施及び採択など、本災害において早期復旧を図るべく迅速な対応に配慮していただいた。以上の方々に厚く感謝いたします。

美の国秋田 HP（秋田県庁 HP）

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.html>

秋田観光総合ガイド HP

<http://www.akitafan.com/>



小町生誕の地を擁するここ『こまちの郷』は、けっして京の都を偲ばせる華やかさにあふれているわけではありません。

ここは『みやび』なところではありません。ここは『ひなび』なところです。

だからこそ、古より受け継がれたあるがままの自然があり昔ながらの風情をたたえる温泉宿があり培ってきた確かな絆を思わせる人情があります。

とこしえに流れる『人・情・美』な時間をじっくり旅してみませんか。



## 会員だより

# 中山間地域を支える 幹線道路での災害対応事例

## (変状確認から崩落までの現場管理と 広域的な行政対応)



徳島県西部総合県民局  
県土整備部(三好)道路担当  
技師 岩本 穰

はじめに

平成19年8月7日、三好市東祖谷落合（下瀬）の一般国道439号において大規模な道路決壊が発生しました。当地域にとって一般国道439号は、沿線住民の生活道路としてだけでなく、東は剣山、西はかずら橋などへ通じる観光ルートであるとともに、三好市を含む周辺市町の生活・観光・産業基盤を支える唯一の幹線路線です。

今回は主に被災箇所における変状確認から崩落までの経緯（現場管理と広域的な行政対応）について報告します。

### 1. 被災概要

- 1) 被災箇所：徳島県三好市東祖谷落合（下瀬）
- 2) 被災路線：一般国道439号（被災延長約42m）
- 3) 変状確認日：平成19年7月30日
- 4) 崩落日：平成19年8月7日12時31分
- 5) 崩落土量：約3,000m<sup>3</sup>
- 6) 災害の形態：岩盤地すべり

### 2. 被災箇所の地形と地質

被災箇所は、一級河川吉野川水系祖谷川の右岸に位置します。祖谷川は、剣山（1,955m）の北西斜面を源流とし、急峻な山々に囲まれた自然豊かな東西に流れる渓谷ですが、その一方で多数の地すべり防止区域が見られる等、昔から多数の土砂災害で悩まされています。

図-1に示すように、四国地方の地すべり防止区域や危険箇所、大規模な土砂移動は、主に三波川帯と秩父帯に多く見受けられ、このうち被災箇所は三波川帯に属しています。

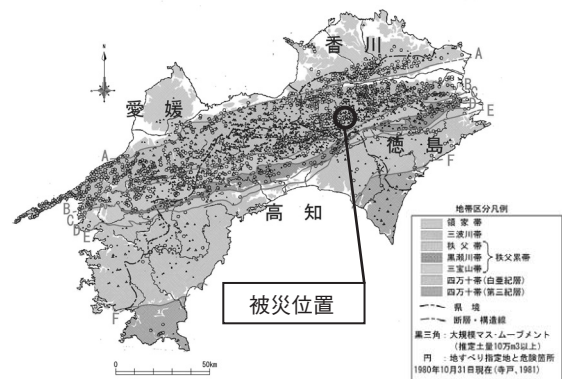


図-1 四国地方の地質区分と地すべり分布  
〔四国地方土木地質図、四国地方土木地質図編集委員会、1998〕

また、被災箇所は祖谷川の攻撃斜面で祖谷川と道路の比高差約23mの泥質片岩露頭からなり、対岸に国土交通省所管の「中上地すべり防止区域」、上流に「落合地すべり防止区域」があります。

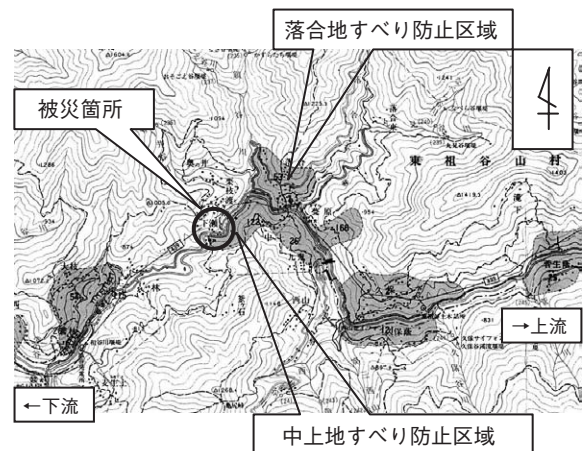


図-2 被災箇所周辺の地形と地すべり防止区域  
(赤着色部) S=1:100,000 (旧池田土木管内図より)

## 会 員 だ よ り

### 3. 崩落までの経緯（現場での対応）

被災箇所は、平成19年7月30日に地域住民により路肩の沈下の通報を受け同日に変状が確認され、同年8月7日に崩落しました。変状確認から崩落までの経緯は、以下の通りです。

[7月30日]；写真－1・2参照

路面の沈下、クラックを確認。

路面下方の岩壁に水平の開口亀裂を確認（すべり末端と推定）。

地元路線管理業者が常時監視。

[7月31日]；

ガードマン配置（24時間体制）

[8月1日]；写真－3参照

路面からの地表水の進入を防止する目的でオーバーレイや側溝の補修を実施（崩落時期を遅らせるため）。

地盤伸縮計S-1、S-2、赤色回転灯・サイレン設置（崩落の危険を察知ため）。

[8月2～3日]

台風5号の影響により8月2日8時頃より降雨。8月3日0時より4時頃まで時間20mm以上を記録、最大は3日0時より1時までの時間雨量28mm。総雨量310mm。

8月2日18時から8月3日16時まで異常気象時事前通行止を実施。

8月3日21時より安全確認が困難であるため、夜間全面通行止を実施（21時から翌朝5時）。

[8月5日]；写真－4参照

<18：00頃>一時的に移動量2mm/hr超過。全面通行止を実施。

<22：00頃>オーバーレイに新たな亀裂確認。

[8月6日]；写真－4参照

<14：00頃>下流側の岩塊が一部崩落（大きな音がした）。

<15：00頃>下流側擁壁背面に亀裂確認。

[8月7日] 写真－5参照

<8：00頃>下流側路面（オーバーレイのさらに下流側）に亀裂確認。9：00に移動量2mm/hrを超過。

<10：00頃>末端の岩塊一部崩落。この頃から落石や小崩壊が頻発する。4mm/hrを超過。

<12：31>崩落



写真－1 路面の沈下、クラック（7/30撮影）



写真－2 岩壁に水平開口亀裂を確認（7/31撮影）



写真－3 応急手当と観測機器設置（8/1撮影）



会員だより



写真-4 オーバレイ後のクラック (8/6撮影)



写真-6 崩壊直後 (8/7撮影)



写真-5 赤印部の岩塊2~3m³が崩落 (8/6撮影)

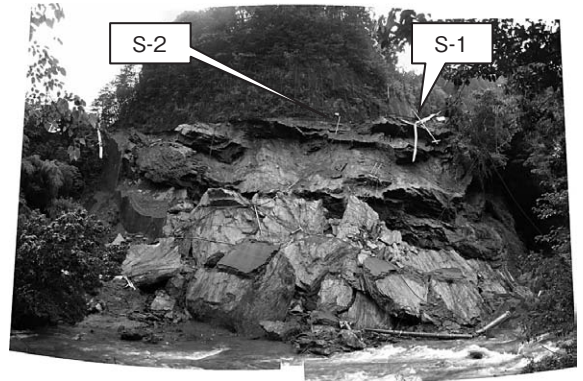


写真-7 崩落後、写真-2の開口亀裂が末端部 (8/7撮影)

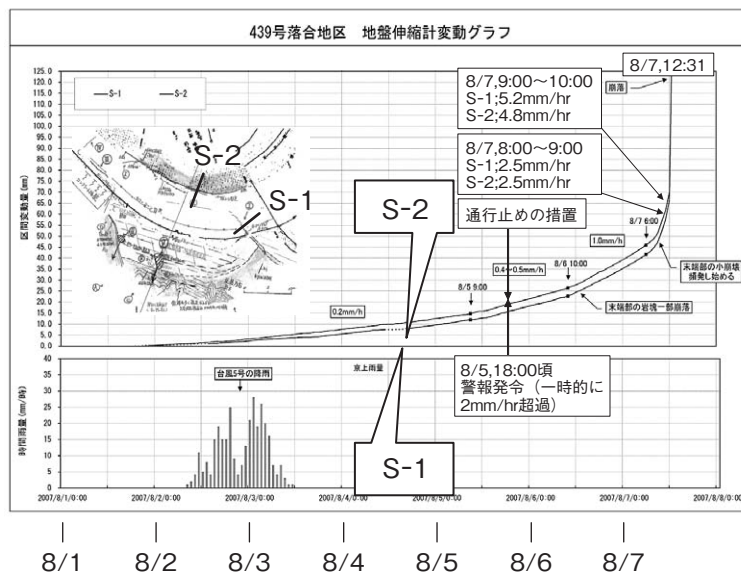


図-3 地盤伸縮計変動図 (8/1~8/7) 崩落まで約120mmの変動



会 員 だ よ り

4. 崩落までの経緯（広域的な対応）

1) 迂回路の通行確保と施設整備

本来であれば、変状確認後直ちに通行止を行い、諸車交通の迂回措置を講じなければなりません。迂回路となる市道も7月14日に山腹崩壊が発生し、通行止となっていました。このため、早急に三好市と協議を行い、崩土撤去等の復旧作業並びに大型車両の通行に備えた対策（待避箇所の整備等）を市と協働し行いました（8月10日に通行可能）。

2) 各行政機関への状況報告と緊急時の対応について（警察・消防など）

道路決壊により物理的に通行が遮断される恐れがあり、当地域における緊急時の消防活動や要救助者の搬送等に支障を来すことが予想されるため、事前に情報提供を行い、対応について依頼を行いました。

3) 道路占用物件管理者（ライフライン事業者）への状況報告と崩落による断線時等の対応について

中山間部の幹線道路のほとんどは、電力等のライフライン事業者による道路占用がなされており、当箇所においても四国電力の高圧線が上空を架線し、路面下にはN T Tの光通信ケーブル



写真-8 崩壊状況（8/7撮影）

ルが埋設されています。道路決壊によりこれらの設備が断線することによる地域生活に与える影響はとても大きいことから、事前の対応について依頼を行いました。この結果、電力については崩壊前に高圧線の撤去を行ったことにより、被災箇所周辺家屋への電柱倒壊などによる二次被害を事前に回避することが出来ました。

4) その他の対応

- ・ オフトーク等による地域住民への事前周知を市へ依頼。
- ・ 災害復旧の早期着手を可能にするため、工事用進入路の用地交渉。 など

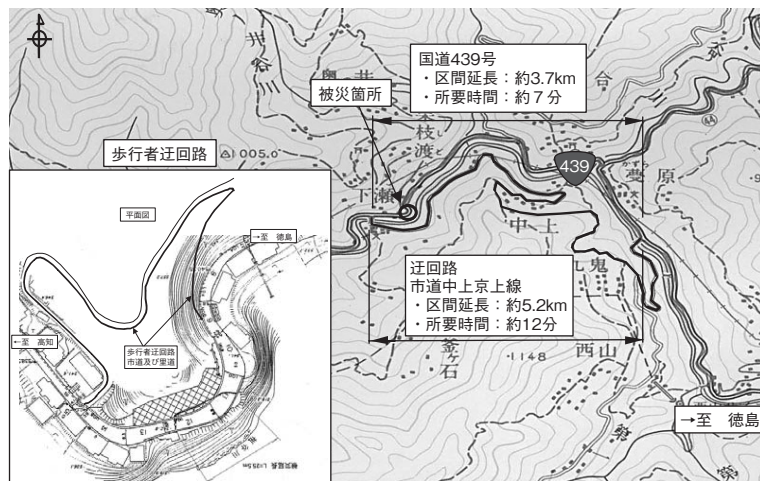


図-4 迂回路説明図

## 会員だより

### 5. 崩落の原因

今回発生した岩盤地すべりは、片理や褶曲等に伴う流れ盤の不連続面がクサビ型すべりの集合体を形成した地質的要因、祖谷川の浸食という地形的要因、降雨等の気象要因が複合的に作用して発生したものと考えられます。

すなわち、「①祖谷川の浸食」によりオーバーハングした流れ盤の岩盤が「②重力により序々に変形」し、「亀裂の発生」→「降雨の浸透」→「亀裂の進展」を繰り返し、最終的に「③片理や節理・亀裂等の不連続面のせん断抵抗が低下し崩落面が繋がり」岩盤が一気に崩落したものと考えられます。

なお、崩落の引き金と考えられる降雨は、台風 4 号(7/6～7/16、累積444mm、日最大雨量299mm、7/14)、台風 5 号(8/2～8/3、累積324mm、日最大雨量157mm、8/2)に伴う降雨と考えられます。

### 6. 対策工

崩落した岩盤下部には、崩落岩盤と同様の地質が残存しており、断面形状も崖面脚部が河川浸食によりえぐられたオーバーハングを呈しています。

対策工法の選定あたっては、崩壊後斜面は岩盤の構造に沿って複雑な地形をなしており、整形等の作業も難しい状態にあることから、残存地形に

合わせた工法が最適であり、地元住民の生活、地元経済への影響を極力小さくするため、早期の復旧が望まれます。

このため、対策工法は以下のとおりとしました。

- a) 台座コンクリートにより、崖面をオーバーハング前の地形に戻すとともに、河川浸食を防止する。
- b) 重力式擁壁および盛土により国道を現形復旧する。

### 7. まとめ

今回の災害対応をまとめると以下のとおりです。

- 1) 今回の道路崩落は、地域住民からの通報(7/30)を受けて僅か8日(8/7)で発生した。
- 2) 崩落の2日前の一時的な管理基準値超過を受けて、即時に通行止を行った結果、人的被害を免れることが出来た。
- 3) 崩落の危険性を事前に予見し、非常に短期間ではあったが、崩落に備えた広域的な対応を行うことが出来た。
- 4) 事前の対応により、被災直後における大きな混乱もなく、地域の生活・産業へ与える負担を軽減することが出来た。

今回の災害において人的被害を未然に防止し、幹線道路での交通遮断による地域生活への負担を軽減することが出来たのは、事前に地域住民、管理者、各行政機関、土砂災害の専門技術者が協働して各々の役割を十分発揮したためと考えられます。

道路における災害時の被害を最小限度にするためには、道路管理者として一般交通の安全確保を第一に考え、迅速且つ的確な現場対応と状況把握に努めるとともに、交通遮断による社会的影響などを日頃から意識し、行政として広域的な対応が行えるよう心懸けて置くことが重要であると考えます。

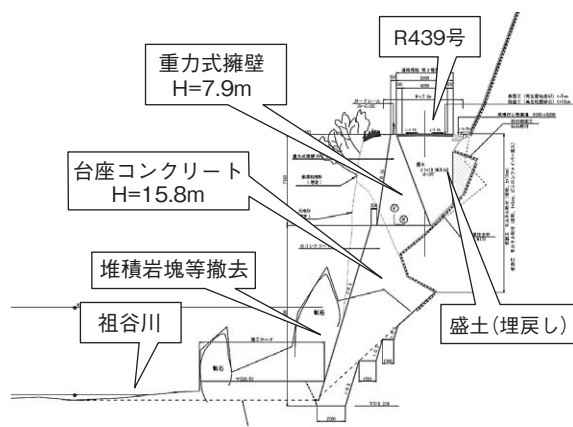


図-7 対策工標準断面図 (S=1/500)

防災課だより

人 事 異 動

〔河川局関係人事発令〕

△平成21年4月30日

北海道開発局室蘭開発建設部沙流川ダム  
建設事業所長

(河川環境課長補佐)

井田 泰蔵

河川環境課長補佐

(外務省在ニュージーランド日本国大使館

一等書記官)

空閑 健

△平成21年5月1日

大臣官房総務課主査(併)大臣官房秘書室  
連絡調整係長

(総務課監査係)

関 由麻

国土技術政策総合研究所環境研究部

河川環境研究室主任研究官

(河川計画課付・復職(財)国土技術研究センター

調査第一部上席研究員)

池田 鉄哉

総務課監査係

(防災課災害第一係)

村上 雄太

治水課河川保全企画室調整係長

(道路局地方道・環境課地域道路調査室調整係長)

榎本 淳

△平成21年5月18日

総務課長補佐(併)都市・地域整備局

都市再生推進室(併任解除)

(総務課長補佐(併)都市・地域整備局

都市再生推進室(併)水政課)

吉岡誠一郎

水政課付

(外務省在ニューヨーク日本国総領事館領事)

中見 大志

図書ご案内

平成20年5月発行

写真と映像で学べる DVDビデオ付 『水防工法の基礎知識』

A4判 83頁 カラー印刷 頒価2,800円(消費税込み) 送料協会負担

突然洪水などが起きた時、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が被害を最小限に食い止めようとするのを水防活動といいます。状況に応じて、最適な水防工法を実施します。

本書では、水防に欠かせない『ロープワーク』『準備工』『水防工法』の基礎に加え、『水防技術の応用』や『くらしへの応用』など、一般・家庭にも役立つ技術を紹介しています。さらに、本書の内容をそのまま映像化したビデオ(DVD)も添付いたしました。水防工法の習得・研鑽に最適な教材と確信しております。

水防工法の基礎知識内容案内

ロープワーク

本結び(ほんむすび)  
舟結び(ふなむすび)  
“の”字結び(ののじむすび)  
疔結び(いぼむすび)  
髪括し(かみくくし)  
鯛結び(いわしむすび)  
舳い結び(もやいむすび)

準備工

土嚢作り(どのうづくり)  
竹尖げ(たけとげ)  
杭拵え(くいごしらえ)

水防工法

木流し工(竹流し工)  
シート張り工  
水防マット工  
折り返し工  
五徳縫い工(ごとくぬい工)  
籠止め工(かごどめ工)  
月の輪工  
釜段工(かまだん工)  
積土のう工(つみどのう工)  
改良積土のう工

水防技術の応用

避難ロープ  
救命、救助ロープ  
簡易水防工法

くらしへの応用

荷づくり  
古新聞の結束  
家庭菜園での結び  
垣根結び  
レジャーテントの張り綱  
野外テントの重し結び  
物干し用張り綱  
長尺物結び、バケツ吊り  
トラック結び  
舟、ボートの係留

〈資料〉

河川における防災用語  
水防用語  
水防工法一覧表

詳細については、(社)全国防災協会ホームページの出版図書案内をご参照下さい。



協会だより

## 「水防専門家派遣制度」の活用状況と 水防専門家新規登録者のご紹介

先月（5月）号でも「水防専門家派遣制度」の活用状況をご紹介させていただきましたが、その後も各機関から多数の派遣要請がございましたので、今月号でも活用状況（5月29日現在派遣回数18回）をご紹介をさせていただきます。

また5月12日付にて、新たに9名の方が水防専門家として登録されましたのでご紹介します。これで、水防専門家として登録されている方は、総数は

122名となりました。

水防専門家への登録者もおかげ様にて年々増え、本協会の水防活動への支援体制も充実化されつつあります。

各地方公共団体の皆様には、これから訪れる出水期に備え、水防体制をより強固にし、これに臨まなくてはなりません。このためにも是非、水防専門家派遣制度のご活用をお待ちしています。

平成21年度 水防専門家派遣実績（予定）一覧表

（平成21年5月29日現在）

No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名	備考
1	四国地方整備局高知河川国道事務所	水防工法講習会	高知県南国市（物部川右岸河川敷）	21. 4 .18	4名	山本 邦一、山崎 宏教 立石 耕一、前中 良啓	派遣済み
2		水防工法講習会	高知県高知市（仁淀川左岸河川敷）	21. 4 .19	4名	山本 邦一、岡崎健一郎 森岡 正男、小松 隆	派遣済み
3	徳島大学工学部	水防工法に関する講演	徳島県徳島市（徳島大学工学部）	21. 4 .22	1名	山本 邦一	派遣済み
4	秋田県秋田市	水防訓練	秋田県秋田市（岩見川右岸河川敷）	21. 5 .10	1名	浦部 康悦	派遣済み
5	北陸地方整備局	新規採用職員研修	新潟県新潟市（北陸技術事務所内）	21. 5 .14	1名	石月 升	派遣済み
6	秋田県秋田市	水防訓練	秋田県秋田市（岩見川右岸河川敷）	21. 5 .16	1名	浦部 康悦	派遣済み
7	北陸地方整備局高田河川国道事務所（関川・姫川水防連絡会）	水防技術講習会	新潟県上越市（保倉川右岸堤防上）	21. 5 .17	2名	水澤 清春、植木 英仁	派遣済み
8	中国地方整備局河川管理課	高津川水防演習 益田地区総合防災訓練	島根県益田市（高津川河川敷）	21. 5 .17	7名	竹下 一郎、江角 俊明 稲田 一三、加納 節夫 西村 明、陶山 幸夫 土江 秀治	派遣済み
9	四国地方整備局徳島河川国道事務所	水防技術講習会	徳島県上板町	21. 5 .20	4名	山本 邦一、武市 寛 高崎 信三、三橋 守	派遣済み
10	宮崎県県土整備部河川課	水防訓練	宮崎県高鍋町	21. 5 .20	2名	赤木 宣威、佐藤 徳雄	派遣済み

No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名	備考
11	兵庫県県土整備部土木局	水防技術講習会	兵庫県三木市（県立広域防災センター）	21.5.22	2名	裕永 正光、福井 保	派遣済み
12	関東地方整備局甲府河川国道事務所（富士川水防連絡会）	富士川水防訓練	山梨県南部町（富士川右岸河川敷）	21.5.23	6名	中村 信明、芦沢 義仁 河野 俊彦、有泉 和人 天野 久一、佐々木秀樹	派遣済み
13	北陸地方整備局富山河川国道事務所（常願寺川・神通川連合水防運営委員会）	水防演習	富山県富山市（常願寺川右岸河川敷）	21.5.23	2名	岩井中俊一、高島 潤一	派遣済み
14	秋田県秋田市	水防訓練	秋田県秋田市（雄物川右岸河川敷）	21.5.24	1名	浦部 康悦	派遣済み
15	宮崎県県土整備部河川課	水防訓練	宮崎県木城町、高鍋町	21.5.24	2名	赤木 宣威、佐藤 徳雄	派遣済み
16	中国地方整備局出雲河川事務所	揖斐川水防演習	島根県雲南市（揖斐川河川敷）	21.5.30	2名	江角 俊明、竹下 一郎	派遣予定
17	秋田県横手市	水防訓練	秋田県横手市（雄物川右岸河川敷）	21.6.6	2名	浦部 康悦、黒沢 宇一	派遣予定
18	埼玉県神川町（神流川水害予防組合）	水防技術研修	埼玉県神川町（神川B & G海洋センター）	21.6.28	1名	茂木 弘	派遣予定

派遣回数：18回

延べ派遣者数：45名

派遣機関：14機関（秋田市 3 回、高知河川国道事務所 2 回、宮崎県河川課 2 回）

## 水防専門家新規登録者名簿

（平成21年5月12日付け登録者9名）

ブロック	No.	氏名	ふりがな	得意分野	活動希望地域
東北	1	黒沢 宇一	くろさわ ういち	実地指導・水防工法	秋田県（県南地区）
	2	高橋 富雄	たかはし とみお	水防工法	秋田県（湯沢・雄勝地域）
中国	1	大輝 勝	おおてる まさる	水防工法・水防体制	島根県内
	2	加納 節夫	かのう せつお	水防体制	出雲市周辺
	3	稲田 一三	いなだ かずみ	水防体制	島根県内
	4	西村 明	にしむら あきら	水防工法	島根県内
	5	松崎 恭久	まつざき やすひさ	水防工法	島根県内
	6	陶山 幸夫	すやま ゆきお	水防体制	島根県内
	7	土江 秀治	つちえ ひではる	水防体制	島根県内

# 「水防技術講習会」における 水防専門家の活動状況写真

- 要請機関：姫川・関川水防連絡会（北陸地方整備局高田河川国道事務所）
- 派遣水防専門家：水澤清春 氏、植木英仁 氏





協会だより

## 平成21年度 通常総会開催要領 (案)

### 1. 日 時

平成21年6月18日(木)～19日(金)

① 総 会 平成21年6月18日(木)

14:00～16:15 (受付開始13時)

(通常総会、災害復旧促進要望決議、功労者表彰及び特別講演)

※理事会を12:30～13:50に開催します。

② 現地視察 平成21年6月19日(金)

※日程の詳細は別紙参照

### 2. 会 場

〒910-0858 福井市手寄1-4-1

AOSSA (アオッサ) 8階

福井県民ホール

(JR 福井駅東口より徒歩1分)

TEL: 0776-87-0003

### 3. 参加人員

各都道府県から15名程度ご参加下さい。

### 4. 申込方法及び申込締切

① 総 会

各都道府県毎に代表者1名を定め、別紙様式に必要な事項を記入の上、当協会あて郵送、FAX 又はEメール等で送付して下さい。

なお、各都道府県の部署毎や市町村単独でのお申し込みも可能です。

申込先 社団法人全国防災協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-2

虎ノ門東鉦ビル6F

TEL: 03-3508-1491

FAX: 03-3508-1493

Eメール: zenkokubousai@pop02.odn.ne.jp

② 現地視察

現地視察参加の方は、申込書の「現地視察」欄

参 ・ 不

に、参加及び不参加を○で囲んで表示して下さい。

なお、本年の視察コースは、1コースのみとなります。

集合場所及び解散場所: JR 福井駅東口

③ 参加申込受付中

### 5. 現地視察参加費用及び支払い方法

① 参加費 (バス代) お一人 5,000円

② 支払い方法

お申し込み頂くと「現地視察乗車票」を送付します。その際同封します振込用紙にてお振り込み下さい。

なお、6月18日の総会の受付にて、現金でお支払い頂くことも可能です。

振込先 みずほ銀行 新橋支店

普通預金 口座番号 1412439

口座名義 社団法人 全国防災協会

### 6. 申込票等

お申し込みを頂きますと当協会より「通常総会資料引換票」及び「現地視察乗車票」等を都道府県代表者に一括送付しますので、参加予定の方にお渡し下さい。

なお、通常総会当日に「通常総会資料引換票」を、現地視察当日に「現地視察乗車票」を受付に提出して頂きます。

### 7. 参加者の変更

参加者の変更は、5月29日(金)までに、当協会あてFAX 又はEメール等でご連絡願います。

### 8. 宿泊等

宿泊場所の斡旋は特に行いません。各自ご手配下さい。

なお、(財)福井観光コンベンション協会のホームページ(下記URL)にて、JR 福井駅周辺(福井市中心部)のホテルがご覧頂けます。

<http://www.fukuicity-nzvi.com/convention/index.html>

### 9. その他

申込に必要な様式等は、当協会のホームページにも掲載する予定です。

URL <http://www.zenkokubousai.or.jp>

### 平成21年度 通常総会 大会次第 (案)

会 場：AOSSA 8 階 福井県県民ホール

時 間：14：00～16：15

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議長推挙

4. 来賓挨拶・災害対策概要説明

5. 来賓紹介

6. 議事録署名人指名

7. 議案審議

議案第 1 号 平成20年度事業報告について

議案第 2 号 平成20年度収支報告について  
(監事より監査結果報告)

議案第 3 号 平成21年度事業計画 (案) について

議案第 4 号 平成21年度収支予算 (案) について

議案第 5 号 平成22年度通常総会の開催地について

そ の 他

8. 災害復旧事業促進に関する要望決議採択

9. 災害復旧及び災害防止事業功労者表彰

10. 特別講演

「平成16年福井豪雨による土木構造物の被害について」

<sup>あらい</sup>荒井 <sup>かつひこ</sup>克彦氏 国立大学法人福井大学大学院工学研究科教授  
工学博士

11. 閉会

### 現 地 視 察 要 領 (案)

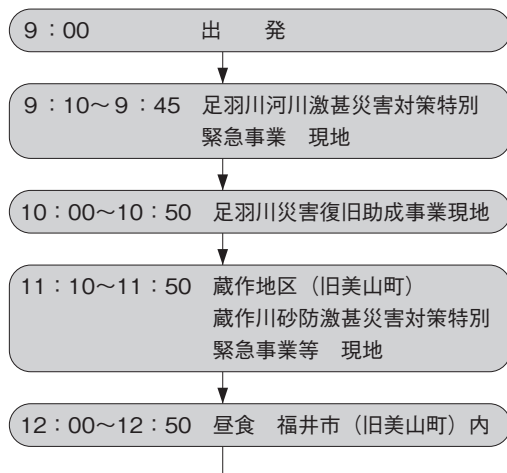
1. 出発日時及び場所

平成21年 6 月19日(金) 9 時

(集合時間：8 時45分)

JR 福井駅東口

2. 視察コース



13：10～14：30 一乗谷川河川等災害関連事業 現地

15：00 JR福井駅東口到着・解散

J R	福井駅発	行先着
	15：36 しらさぎ12号	名古屋 17：46
	15：44 サンダーバード32号	大阪 17：35
	15：38 サンダーバード25号	富山 17：07

空路	発時刻	行先着
	15：32 福井駅北 バス乗場発	小松空港 16：28
	17：15 ANA758	東京羽田空港 18：25

協会だより

## 平成21年度 優秀災害復旧事業技術発表会について (聴講参加のご案内)

平成21年度優秀災害復旧事業技術発表会は平成21年7月23日(木)～24日(金)に東京都千代田区霞が関の霞が関ビル1階(プラザホール)において、パワーポイントを用いた発表形式により開催されます。

5月末現在で17課題のご推薦がありました。

今回の発表会では当協会の賛助会員(企業)や技術専門家等の方々にもご案内をさせていただきます。時節柄お忙しい中ではありますが、両日とも多数ご参加(発表会聴講)いただけますよう、ご案内申し上げます(参加費無料)。

### 平成21年度 優秀災害復旧事業技術発表 日程表(案)

於：霞が関ビル1階(プラザホール)

1日目	7月23日(木)	14:00～17:30	発表会
2日目	7月24日(金)	10:00～15:00	発表会、講演(防災課)、審査結果発表、表彰・講評

※発表会の詳細な日程につきましては、後日お知らせいたします。

### 審査委員名簿

審査委員長	玉井 信行	金沢学院大学教授(東京大学名誉教授)
審査委員	齋藤 宏保	中部大学教授(元NHK解説主幹)
〃	天野 邦彦	国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部 河川環境研究室長
〃	齋藤 源	(財)ダム水源地環境整備センター 技術参与
〃	戸谷 英雄	(財)河川環境管理財団 研究主幹
〃	細見 寛	国土交通省 河川局 防災課長
〃	佐々木 賢一	(社)全国防災協会 副会長

### お知らせ

## H21 ボランティア保険制度の取扱いについて(ご案内)

### 災害復旧等のためのボランティア活動に携わった際の保険制度について

平成10年度より防災対策の推進の一貫として「災害復旧等のための支援活動を行うボランティア団体が円滑に支援活動に携われるための活動を行う」とことと致しております。

この事業計画に基づき、具体的な事業として、各都道府県が設置した災害ボランティア団体で、当協会に登録頂いた団体については、当協会がボランティア活動推進法人として、保険制度の契約者となる、災害ボランティア活動保険制度(9月1日より効力の発生)の取扱いを行います。

詳細は、当協会ホームページをご参照下さい。

なお、本制度の実施を希望される団体については、予め当協会まで事前にご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡先 社団法人 全国防災協会事務局(担当 小沼)

TEL 03-3508-1491 FAX 03-3508-1493



新刊ご案内

実務上手放せない本書をぜひお手元に一冊！

平成21年 5 月発刊

災害復旧実務講義集 (平成21年度版)

A 4 判 424 頁 頒価4,000円 (消費税込み) 送料協会負担

内容案内

最近の自然災害と防災上の課題と対応について .....	国土交通省河川局防災課 水防企画課	貫 名 功 二
災害採択の基本原則について .....	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	大 谷 博 信
復旧工法のポイントと留意点について .....	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	大 谷 博 信
災害事務の取扱いについて .....	国土交通省河川局防災課 課 長 補 佐	塚 田 政 行
I 災害復旧制度の概要	II 災害報告	
III 災害事務の管理	IV 国庫負担率の算定事務	
V 災害復旧事務の予算	VI 改良復旧事業等に対する補助制度	
VII 災害復旧事業費の精算と成功認定		
災害復旧における環境への取組について .....	国土交通省河川局防災課 課 長 補 佐	長 野 拓 朗
災害復旧事業の技術上の実務について .....	国土交通省河川局防災課 課 長 補 佐	長 野 拓 朗
—設計積算と工事実施—		
改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について .....	国土交通省河川局防災課 課 長 補 佐	高 木 優
災害査定留意点について .....	国土交通省河川局防災課 災 害 査 定 官	山 科 勝 嗣
災害査定の迅速化への取り組みについて .....	岩手県土木整備部砂防災害課 技 術 副 主 幹	笹 原 敬 悦
~「岩手・宮城内陸地震」での取り組み~		
平成17年災 普通河川 山附川河川等災害関連事業について .....	宮崎県高千穂町建設課 土 木 係 長	有 藤 寿 満
~清らかなせせらぎと癒し空間を再生する改良復旧~		

詳しくはホームページをご覧ください。

新刊ご案内

平成20年発生災害採択事例集

平成21年 5 月発刊

A 4 判 頒価4,800円 (消費税込み) 送料協会負担

【概 要】

本書は、平成20年に発生した災害の概要を記載するとともに、近年の社会情勢の著しい変化を適切に捉え、環境への配慮や新たな技術の採用など、復旧工法等について様々な工夫を加えた事例について、各地方自治体の方々のご協力を得て取りまとめたものであります。

これまでに発刊された各年の採択事例集と同様に、本書が今後の災害復旧の迅速かつ的確な対応並びに災害復旧事業関係者の技術力の向上の一助となれば幸いです。

平成20年発生災害採択事例集 【目次】

1. 平成20年発生災害について	(5) 平成20年河川等災害特定関連事業の概要
(1) 平成20年発生災害の概要	(6) 平成20年特定小川災害関連環境再生事業の概要
(2) 主な平成20年発生災害の概要	4. 平成20年発生災害採択事例
2. 平成20年発生公共土木施設災害 (国土交通省所管・補助)の概要	(1) 河川災害復旧工事 (補助災害全体に占める割合: 約30%)
(1) 決定額及び被害報告額	(2) 海岸災害復旧工事 (補助災害全体に占める割合: 約9%)
(2) 決定額内訳	(3) 砂防・急傾斜・地すべり災害復旧工事 (補助災害全体に占める割合: 約8%)
(3) 平成20年発生大規模災害箇所一覧表 (4億円以上)	(4) 道路災害復旧工事の概要 (補助災害全体に占める割合: 約46%)
(4) 一定災の推移	(5) 橋梁災害復旧工事の概要 (補助災害全体に占める割合: 約7%)
3. 平成20年河川等災害復旧助成事業・河川等災害関連事業及び河川等災害関連特別対策事業の概要	(6) 改良復旧工事の概要
(1) 総括	参考 1 収録事例特徴別分類表
(2) 平成20年河川等災害復旧助成事業の概要	参考 2 災害査定事務の簡素化
(3) 平成20年河川等災害関連事業の概要	
(4) 平成20年河川等災害関連特別対策事業の概要	

## 平成21年 発生主要異常気象別被害報告

平成21年5月15日現在 (単位:千円)

	冬期風浪及び風浪		豪 雨		地 す べ り		融 雪		地 震		梅雨前線豪雨		台 風		そ の 他		合 計		
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	
北海道																			
青森	2	87,000	10	73,000											1	12,500	13	172,500	
	<1>	<10,000>															<1>	<10,000>	
岩手	1	10,000	3	21,000	1	18,000											5	49,000	
宮城																			
秋田	1	150,000			1	150,000											2	300,000	
山形					1	27,000											1	27,000	
福島																			
茨城																			
群馬																			
千葉			3	18,000													3	18,000	
東京																			
神奈川																			
新潟																			
富山					1	40,000	3	15,000									4	55,000	
石川															1	15,000	1	15,000	
福井	2	90,000															2	90,000	
山梨																			
長野			1	2,900			2	23,800									3	26,700	
岐阜					1	200,000											1	200,000	
静岡			1	50,000													1	50,000	
愛知																			
三重			15	203,500													15	203,500	
滋賀																			
京都																			
大阪																			
兵庫																			
奈良																			
和歌山			1	3,000													1	3,000	
鳥取																			
島根	4	239,900			1	19,500											5	259,400	
岡山																			
広島																			
山口																			
徳島																			
香川																			
愛媛			1	19,000													1	19,000	
高知																			
福岡																			
佐賀																			
長崎																			
熊本																			
大分																			
宮崎																			
鹿児島			4	38,700													4	38,700	
沖縄																			
札幌																			
仙台																			
さいたま																			
千葉																			
川崎																			
横浜																			
新潟																			
静岡																			
浜松			1	15,000													1	15,000	
名古屋																			
京都																			
大阪																			
大塚																			
神戸																			
岡山																			
広島																			
北九州																			
福岡																			
補助計	<1>	<10,000>															<1>	<10,000>	
	10	576,900	40	444,100	7	634,500	5	38,800								2	27,500	64	1,721,800
直轄計	2	430,000	1	63,650													3	493,650	
合計	12	1,006,900	41	507,750	7	634,500	5	38,800							2	27,500	67	2,215,450	

※上段 ( ) 内書きは、下水道・公園分、< >内書きは港湾・港湾に係る海岸分である。